

ひとり親家庭等の生活と意識に関するアンケート（寡婦）

日頃から、札幌市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

札幌市では、ひとり親家庭等の方を対象に、これからの札幌市におけるひとり親家庭等への支援策の参考とさせていただくため、「ひとり親家庭等の生活と意識に関するアンケート調査」を実施することにいたしました。

突然のお願いで、誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

■調査票の回答にあたって

- 封筒の宛名の方が令和4年10月1日現在の状況でご回答ください。
- ご回答は当てはまる番号を○で囲み、内には数字を、(かっこ)内には具体的に記入してください。ご使用いただく筆記用具はどのようなものでも構いません。
- 網かけ**は回答対象者の条件を示しています。条件に合う方のみお答えください。

■回答方法

- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**令和4年11月11日(金)までに郵便ポストに投函してください(切手は必要ありません)**

返信用封筒に氏名や住所を記入いただく必要はございません。

- このアンケートは、ウェブフォームでも回答できます。スマートフォン、PCから右の二次元バーコードを読み取るか、URL：[ここにURLが記載されています](#)にアクセスしてください。ウェブフォームからの回答にあたり発生する通信費等については、ご回答者の負担となります。あらかじめ御了承ください。
- このアンケートは、紙の調査票またはウェブフォームにより**1回だけ**ご回答ください。
(ウェブフォームでご回答いただく方は、紙の調査票は送付する必要はありません)

二次元
バーコード

■その他

- 今回の調査は、札幌市内の母子家庭、父子家庭、寡婦のひとり親家庭等の方を対象にしております。このうち、寡婦の方は、無作為抽出(くじ引きのような方法)により、320人の方を選定させていただきました。この調査票を受け取られた方が、寡婦の方ではない場合は、大変恐れ入りますが調査票は破棄していただきますようお願いいたします。
- 個人情報の保護について、このアンケートは無記名でご回答いただくものであり、回答結果は統計的に処理し「こういうご意見が○%」というように表にまとめますので、個人の情報が公表されることはありません。

<お問合せ先>

札幌市 子ども未来局 子育て支援部 子育て支援課 担当 いせき なかむら 伊関・中村

電話 011-211-2988 (受付時間：月～金曜日(祝日除く) 9:00～17:00)

この調査票は両面印刷です。次のページ(裏面)から設問が始まります。

1 あなたとご家族の状況について

質問1 あなたの年齢を教えてください。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | |
|------------|-------------|------------|------------|
| 1. ~19 歳 | 2. 20~24 歳 | 3. 25~29 歳 | 4. 30~34 歳 |
| 5. 35~39 歳 | 6. 40~44 歳 | 7. 45~49 歳 | 8. 50~54 歳 |
| 9. 55~59 歳 | 10. 60~64 歳 | 11. 65 歳以上 | |

質問2 あなたのお子さんの生年月日について、元号に○をつけ、四角の中に数字を記入してください。また、性別、同居の別、就学・就労状況欄のあてはまるもの1つに○をつけてください。

生年月	性別	同居の別	就学・就労状況
1. 昭和 2. 平成 年 月生	1. 男 2. 女 3. その他 4. 答えたくない	1. 同居 2. 別居	1. 高校 2. 高専・専門学校等 3. 短大 4. 大学 5. 大学院 6. 就労 7. その他 ()
1. 昭和 2. 平成 年 月生	1. 男 2. 女 3. その他 4. 答えたくない	1. 同居 2. 別居	1. 高校 2. 高専・専門学校等 3. 短大 4. 大学 5. 大学院 6. 就労 7. その他 ()
1. 昭和 2. 平成 年 月生	1. 男 2. 女 3. その他 4. 答えたくない	1. 同居 2. 別居	1. 高校 2. 高専・専門学校等 3. 短大 4. 大学 5. 大学院 6. 就労 7. その他 ()
1. 昭和 2. 平成 年 月生	1. 男 2. 女 3. その他 4. 答えたくない	1. 同居 2. 別居	1. 高校 2. 高専・専門学校等 3. 短大 4. 大学 5. 大学院 6. 就労 7. その他 ()
1. 昭和 2. 平成 年 月生	1. 男 2. 女 3. その他 4. 答えたくない	1. 同居 2. 別居	1. 高校 2. 高専・専門学校等 3. 短大 4. 大学 5. 大学院 6. 就労 7. その他 ()

質問3 お子さん以外に同居している方について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|-----------|-------------|
| 1. あなたの父 | 2. あなたの母 | 3. あなたの兄弟姉妹 |
| 4. あなたの祖父 | 5. あなたの祖母 | 6. その他 () |
| 7. 同居している者はいない | | |

質問4 あなたを含めて、同居されている方全員の人数を記入してください。

 人

質問5 あなたの最終学歴（最後に卒業した学校）について、あてはまるもの1つに○をつけてください。（例：高校を中途退学した場合は、「1. 中学校」に○をつけてください）

- | | | | |
|--------|--------|-------------|-------|
| 1. 中学校 | 2. 高校 | 3. 高専・専門学校等 | 4. 短大 |
| 5. 大学 | 6. 大学院 | 7. その他（ | ） |

質問6 あなたは、今後の生活（家計や健康のこと等）に不安を感じていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 感じている | 2. どちらかといえば感じている |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば感じていない |
| 5. 感じていない | |

質問7 現在、あなたが困っていることについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|--------------|------------|
| 1. 住居 | 2. 家計 | 3. 仕事 |
| 4. 子育て | 5. 家事 | 6. 自分の健康 |
| 7. 親の健康 | 8. 親以外の親族の健康 | 9. 交際相手のこと |
| 10. 元配偶者のこと | 11. その他（ | ） |
| 12. 特にない | | |

質問8 あなたの困ったときや悩みの相談相手について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 親 | 2. 親以外の親族 |
| 3. 友人・知人 | 4. 交際相手 |
| 5. 職場の同僚や上司 | 6. 保育所や学校等の先生 |
| 7. 区役所等の相談員 | 8. 札幌市母子寡婦福祉連合会等の支援団体 |
| 9. インターネットサイトやSNSへの書き込み | 10. その他（ |
| 11. 特にない | ） |

質問9 あなたの現在の健康状態等について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. 健康である | 2. 通院している |
| 3. 入院中である | 4. 通院していないが体調が悪い |
| 5. 障がい認定を受けている（難病をのぞく） | 6. 指定難病の認定を受けている |
| 7. その他（ | ） |

質問 10 次のAからFの質問について、あなたはここ1か月の間はどのようであったか、A～Fのそれぞれについてあてはまるもの1つに○をつけてください。

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない
A 神経過敏に感じましたか ※1	1	2	3	4	5
B 絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
C そわそわ、落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
D 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
E 何をするのも骨折りだと感じましたか※2	1	2	3	4	5
F 自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

※1 神経過敏…外部からの刺激が過剰に感じられ、苦痛や不快を感じる事

※2 骨折り …苦勞だと感じる事

質問 11 あなたが病気等のとき、あなたやあなたの家族の身の回りの世話をどなたに頼みますか。主なものを1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. あなたの親（同居） | 2. あなたの親（別居） |
| 3. 親以外の親族 | 4. 友人・知人 |
| 5. 職場の同僚や上司 | 6. 札幌市母子寡婦福祉連合会の支援員 |
| 7. ホームヘルパー | 8. その他（ ） |
| 9. 特にいない | |

2 住居の状況について

質問 12 あなたの現在のお住まいについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 持ち家（あなた名義） | 2. 持ち家（あなた名義以外） |
| 3. 借家・アパート・賃貸マンション | 4. 公営住宅等（都市再生機構や公社を含む） |
| 5. 親の家に同居 | 6. 親以外の親族の家に同居 |
| 7. その他（ ） | |

質問 13 あなたは、お住まいを決めるうえで、何を重要視しますか。主なものを1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|----------|--------------|
| 1. 家賃 | 2. 通勤 | 3. 部屋の広さ・間取り |
| 4. 建物の新しさ | 5. 周囲の環境 | 6. その他（ ） |

質問 14 あなたの希望する転居先について、主なもの 1 つに○をつけてください。

- ### 3 仕事の状況について

＜同じく、現在働いている方におたずねします＞

質問 18 あなたは、現在の仕事について、どのように考えていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 現在の仕事を続けたい 2. 仕事を変えたい
3. 仕事をやめたい 4. その他 ()

<この質問は、現在働いていない方におたずねします>

質問 19 あなたが仕事に就いていない理由について、あてはまるものすべてに〇をつけてください。

1. 自分の病気や怪我
2. 親の世話・介護
3. 親以外の親族の世話・介護
4. 条件の合う仕事が見つからない
5. 資格取得等のため学校に通っている
6. 働かなくても生活できている
7. その他（ ）

<この質問は、現在求職中の方と転職を考えている方におたずねします>

質問 20 あなたは、どのような雇用形態の仕事に就きたいと考えていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 正社員・正職員
2. パート・アルバイト
3. 派遣社員・契約社員
4. 会社・団体等の役員
5. 自営業・フリーランス
6. 家族従事者
7. 内職
8. その他（ ）

<ここからは、皆さまにおたずねします>

質問 21 下の表のア～モの資格について、「持っているもの」「現在の仕事に役立っているもの」「今後取得したいもの」それぞれ、あてはまるものすべてに○をつけてください。

資格・免許		持っているもの	現在の仕事に役立っているもの	今後取得したいもの
記載例	キ. 介護福祉士	①	②	3
	ク. 保育士	1	2	3
	ケ. 理学療法士・作業療法士	1	2	③
	ア. 自動車一種免許（普通）	1	2	3
	イ. 自動車二種免許（大型・小型）	1	2	3
	ウ. 教員	1	2	3
	エ. 幼稚園教諭	1	2	3
	オ. 看護師	1	2	3
	カ. 准看護師	1	2	3
	キ. 介護福祉士	1	2	3
	ク. 保育士	1	2	3
	ケ. 理学療法士・作業療法士	1	2	3
	コ. 言語聴覚士	1	2	3
	サ. 歯科衛生士・歯科技工士	1	2	3
	シ. はり師・きゅう師	1	2	3
	ス. 柔道整復師	1	2	3
	セ. 臨床検査技師・臨床工学技師	1	2	3
	ソ. 診療放射線技師	1	2	3
	タ. 視能訓練士	1	2	3
	チ. 義肢装具士	1	2	3
	ツ. 自動車整備士	1	2	3
	テ. 美容師・理容師	1	2	3
	ト. 調理師・製菓衛生師	1	2	3
	ナ. 保健師・助産師	1	2	3
	ニ. 栄養士	1	2	3
	ヌ. 社会福祉士	1	2	3
	ネ. 精神保健福祉士	1	2	3
	ノ. あん摩マッサージ師	1	2	3
	ハ. 医療事務	1	2	3
	ヒ. ホームヘルパー	1	2	3
	フ. 簿記・珠算・速記	1	2	3
	ヘ. パソコン・Web 関係（例：MOS 資格（※）、Web デザイナー検定など）	1	2	3
	ホ. その他（ ）	1	2	3
	マ. その他（ ）	1	2	3
	ミ. その他（ ）	1	2	3
	ム. その他（ ）	1	2	3
	メ. その他（ ）	1	2	3
	モ. その他（ ）	1	2	3

※ワード、エクセルなどの利用スキルを証明する資格

4 家計の状況について

質問 22 あなたの世帯（同居のご家族全員）のふだんの家計について、もっとも近いもの 1 つに ○ をつけてください。（住宅ローンや車のローンも支出に含めてお答えください）

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 黒字であり毎月貯金している | 2. 黒字であるが貯金はしていない |
| 3. 黒字でも赤字でもなくぎりぎりである | 4. 赤字であり貯金をとりくずしている |
| 5. 赤字であり借金をして生活をしている | 6. わからない |

質問 23 過去 1 年間に、経済的な理由で、次のようなことがありましたか。①～⑧のそれぞれについて、あてはまるもの 1 つに ○ をつけてください。

	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった、 支払う必要がない
① 家族が必要とする食材が 買えなかった	1	2	3	4
② 家族が必要とする衣服を 買えなかった	1	2	3	4
③ 電気・ガス・水道などの 支払いができなかった	1	2	3	4
④ 家賃・住宅ローンが支払 えなかった	1	2	3	4
⑤ 学校への支払いができな かった	1	2	3	4
⑥ あなたの病院への受診を 控えた	1	2	3	4
⑦ 家族の病院への受診を控 えた	1	2	3	4
⑧ 親や親族、友人との会食 などの付き合いを控えた	1	2	3	4

質問 24 あなたの世帯（同居のご家族全員）の昨年 1 年間の総収入について、あてはまるもの 1 つに ○ をつけてください。

収入には、給与や年金のほか、生活保護費などを含みます。給与は税金や保険料などが引かれる前の金額で計算してください。

1 年間の金額が分からない場合は 1 か月分を 12 倍するなどして計算してください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 150 万円未満 | 2. 150 万円以上 200 万円未満 |
| 3. 200 万円以上 250 万円未満 | 4. 250 万円以上 300 万円未満 |
| 5. 300 万円以上 350 万円未満 | 6. 350 万円以上 400 万円未満 |
| 7. 400 万円以上 450 万円未満 | 8. 450 万円以上 500 万円未満 |
| 9. 500 万円以上 | |

質問 25 あなたご自身の昨年 1 年間の就労収入について、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。就労収入には、年金や生活保護費などを含みません。税金や保険料などが引かれる前の金額で計算してください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 50 万円未満 | 2. 50 万円以上 100 万円未満 |
| 3. 100 万円以上 150 万円未満 | 4. 150 万円以上 200 万円未満 |
| 5. 200 万円以上 250 万円未満 | 6. 250 万円以上 300 万円未満 |
| 7. 300 万円以上 350 万円未満 | 8. 350 万円以上 400 万円未満 |
| 9. 400 万円以上 450 万円未満 | 10. 450 万円以上 500 万円未満 |
| 11. 500 万円以上 | |

質問 26 あなたの世帯（同居のご家族全員）の収入の種類について、主なものから順に 3 つまで番号を記入してください。

- | | | |
|--------------|----------|--------------------------------|
| 1. 給与収入 | 2. 年金 | 3. 家賃・利子などの収入 |
| 4. 親・親族からの援助 | 5. 養育費 | 6. 児童手当 |
| 7. 児童扶養手当 | 8. 生活保護費 | 9. その他（ ） |

①	②	③
---	---	---

5 ひとり親家庭になった際の状況などについて

質問 27 あなたがひとり親家庭になった理由について、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- | | |
|-------|--------------------------------|
| 1. 離婚 | 2. 未婚 |
| 3. 死別 | 4. その他（ ） |

質問 28 ひとり親家庭での生活を始める前後で対応が難しかったこと、困ったことはなんですか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 住宅を探すこと |
| 2. 仕事を探すこと |
| 3. 当面の生活費を確保すること |
| 4. 子どもが転校・転園先になじめなかったこと |
| 5. 子どもの保育園を探すこと |
| 6. 自分が心身の健康をくずしたこと |
| 7. 子どもが心身の健康をくずしたこと |
| 8. 相談先や利用できる制度がわからなかったこと |
| 9. 元配偶者からの暴力 |
| 10. 離婚に係る協議のこと |
| 11. その他（ ） |
| 12. 特にない |

質問 29 ひとり親家庭での生活をはじめるにあたり、相談又は利用したところがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 家庭裁判所
3. 区役所・保健センターの相談窓口
5. 札幌市配偶者暴力相談センター
7. NPO等の相談機関
9. 親
11. 友人・知人
13. その他（ ）
2. 弁護士・司法書士
4. ひとり親家庭支援センター
6. 北海道立女性相談援助センター
8. 法テラス
10. 親以外の親族
12. 職場の同僚や上司
14. 相談も利用もしていない

＜ここから質問 34 までは、質問 27 で「1. 離婚」と答えた方におたずねします。ひとり親家庭になった理由が「離婚以外」の方は質問 35 にお進みください＞

質問 30 あなたが離婚したとき、財産(ざいさん)分与(ぶんよ)※はありましたか。あてはまるものの1つに○をつけてください。

1. 財産分与があった
2. 財産分与はなかった
3. 財産自体がなかった
4. 相手の借金を払うこととなった
5. その他（ ）

※財産分与：婚姻中の夫婦の財産を、離婚に伴って個人の財産に分けること

質問 31 あなたが離婚したとき、養育費(よういくひ)※の取決めをしましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 文書を交わして取り決めた
2. 文書は交わしていないが、取り決めた
3. 取決めはしなかった
4. 話し合い自体していなかった

※養育費：離婚後、子どもの衣食住・教育などのために子どもと離れている親が支払う費用

質問 32 あなたが離婚したとき、養育費の取決めについて誰かに相談しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 親
2. 親以外の親族
3. 友人・知人
4. 札幌市母子寡婦福祉連合会等の支援団体
5. 区役所等の相談員
6. 弁護士
7. 家庭裁判所
8. その他（ ）
9. 誰にも相談しなかった

質問 33 あなたが離婚したとき、面会(めんかい)交流(こうりゅう)※の取決めをしましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 文書を交わして取り決めた
2. 文書は交わしていないが、取り決めた
3. 取決めはしなかった
4. 話し合い自体していなかった

※面会交流：離婚後、子どもと離れている親が、子どもと会ったりすること

質問 34 あなたが離婚したとき、面会交流の取決めについて誰かに相談しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1. 親 | 2. 親以外の親族 |
| 3. 友人・知人 | 4. 札幌市母子寡婦福祉連合会等の支援団体 |
| 5. 区役所等の相談員 | 6. 弁護士 |
| 7. 家庭裁判所 | 8. その他（ ） |
| 9. 誰にも相談しなかった | |

6 支援制度について

質問 35 下記の制度はひとり親家庭等を支援するための制度です。あなたは下記の制度を利用したことがありますか。ア～サそれぞれについて、「利用したことがある」「利用したことはないが、知っている」「知らない」のいずれか1つに○をつけてください。

		利用したことがある	利用したことはないが 知っている	知らない
記載例	区役所の母子・婦人相談員	①	2	3
	母子父子寡婦福祉資金貸付金	1	②	3
ア.	区役所の母子・婦人相談員	1	2	3
イ.	母子父子寡婦福祉資金貸付金	1	2	3
ウ.	自立支援教育訓練給付金	1	2	3
エ.	高等職業訓練促進給付金	1	2	3
オ.	ひとり親家庭高等職業訓練 促進資金貸付金	1	2	3
カ.	ひとり親家庭高等学校卒業 程度認定試験合格支援事業	1	2	3
キ.	母子生活支援施設	1	2	3
ク.	養育費確保支援事業	1	2	3
ケ.	ひとり親家庭支援センター	1	2	3
コ.	ひとり親家庭等日常生活支援 事業	1	2	3
サ.	ひとり親家庭学習支援ボラン ティア事業	1	2	3

※ア～クは各区役所、ケ～サは札幌市母子寡婦福祉連合会で御案内しています。

【各制度の説明】

ア. 区役所の母子・婦人相談員

各区の保健センターで、専門の相談員がひとり親家庭等の福祉向上のために様々な相談を受けています。

イ. 母子父子寡婦福祉資金貸付金

ひとり親家庭等の経済的自立を支援するため、お子さんの修学資金など 12 種類の資金を無利子または低利子で貸付けする制度です。

ウ. 自立支援教育訓練給付金

就業を目指して資格取得のために教育訓練講座を受けるひとり親家庭の親に給付金（受講費用の一部）を支給する制度です。

エ. 高等職業訓練促進給付金

看護師等の就職に有利な資格取得に係る養成機関で修業するひとり親に、生活の負担軽減を図り、資格取得を促進するための給付金（非課税世帯 100,000 円/月、課税世帯 70,500 円/月、上限 4 年）を支給する制度です。

オ. ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付金

資格取得を目指して養成機関に通うひとり親をさらに後押しするため、準備費用が多く掛かる入学時と就職時に資金の貸付けを行う制度です。

エの高等職業訓練促進給付金の受給者を対象に、入学準備金（上限 50 万円）と就職準備金（上限 20 万円）の貸付けを受けることができます。

カ. ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業

高校を卒業していないひとり親家庭の親と子の学び直しを支援し、より良い条件での就職や転職につなげることを目的に、給付金（高卒認定講座の受講料等の一部）を支給する制度です。

キ. 母子生活支援施設（旧名称：母子寮）

生活や住宅、就職、子育て等に困難のある母子世帯が入所し、自立のための支援を行う施設です。

札幌市内に 5 施設あり、入所している母子に対して、生活の場を提供するとともに、自立のための相談や指導などを行っています。

ク. 養育費確保支援事業

養育費の確保を支援するため、裁判外紛争解決手続きの利用、公正証書の作成、養育費保証計画に関する費用の一部について補助を行っています。

ケ. ひとり親家庭支援センター

専門の相談員による生活や養育費等の相談、教育講座の開催のほか、就業に係る相談や就職あっせんなどを行っている施設です。札幌市社会福祉総合センター（中央区大通西 19 丁目）の 1 階にあり、ひとり親家庭等の方であればどなたでも利用できます。

コ. ひとり親家庭等日常生活支援事業

修学や疾病等の理由で生活援助や保育サービスが必要な場合に、各ご家庭に家庭生活支援員を派遣する制度です。

生活保護世帯及び市民税非課税世帯の方は無料で、児童扶養手当支給水準の世帯の方は 1 時間当たり 150 円、それ以上の所得の方は一時間あたり 300 円で利用できます。

サ. ひとり親家庭学習支援ボランティア事業

小学校 3 年生～中学校 3 年生を対象に、大学生等のボランティアが学習支援や進路相談を行っています。

札幌市内 10 か所（各区 1 か所）を会場に、土曜日もしくは日曜日の週 1 回 2 時間程度開催しています。

※より詳しくお知りになりたい方は札幌市のホームページ「さっぽろ子育て情報サイト」でご確認ください。

質問 36 あなたは、ひとり親家庭等への支援策等の情報を得るためにどのようなものを参考にしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 広報さっぽろ | 2. 札幌市のホームページ |
| 3. さっぽろ子育てアプリ | 4. 札幌市ひとり親家庭公式 LINE |
| 5. SNS（フェイスブックやツイッターなど） | 6. インターネット検索 |
| 7. 区役所窓口（母子婦人相談員等） | 8. 札幌市母子寡婦福祉連合会等の支援団体 |
| 9. テレビ・新聞等 | 10. 家族や友人からの情報 |
| 11. その他（ | ） 12. 特にない |

質問 37 あなたは、市のひとり親家庭等への支援施策で不足していると感じているものがありますか。支援施策で特に充実を望むものに○をつけてください。（複数回答可）

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 相談窓口の充実 | 2. 資格取得への支援 |
| 3. 就職の支援 | 4. 貸付制度の充実 |
| 5. 家庭での家事や子育て支援の充実 | 6. 子どもの学習支援の充実 |
| 7. 学費や入学金などの就学援助の充実 | 8. 保育所の優先入所 |
| 9. 子どもを預けられる制度の充実 | 10. 公営住宅の優先入所 |
| 11. 税控除等の拡大 | 12. 医療助成制度の充実 |
| 13. 年金制度の充実 | 14. 養育費確保のための施策 |
| 15. 面会交流への支援 | 16. その他（ |
| 17. 特にない | ） |

7 新型コロナウイルス感染症について

質問 38 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、あなたの生活や体調はどのような影響を受けたか、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|------------------------|
| 1. 体調をくずした・くずしやすくなった |
| 2. 気持ちが沈みがちになった |
| 3. 病院にかかりにくくなった |
| 4. 友人や知人に相談ごとをする機会が減った |
| 5. その他（ |
| 6. あてはまるものはない |

質問 39 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、あなたの仕事が受けた影響について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 自ら仕事をやめた
2. 会社から解雇された
3. 勤め先が廃業・倒産した
4. 勤務日数や労働時間が減った
5. 勤務日数や労働時間が増えた
6. 一時的に仕事を休んだ・休業した
7. 給料の不払いや支払いの遅れがあった
8. その他（ ）
9. 当てはまるものはない

質問 40 ご意見やご要望などをご自由にお書きください。(例:「〇〇の制度が役に立った」、「〇〇で困った」、「〇〇の制度があると良い」など)

記入されましたアンケートは、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま切手を貼らずに令和4年11月11日（金）までに、郵便ポストへ投函してください。



ホームページはこちらから